編集委員自身の考えを発信したい。それが、このコーナーを立ち上げた動機です。前号に引き続き、今回もたくさんの作品が集まりました。『飛翔な日々』第二弾、編集委員有志によるエッセー集です。

ました。今となっては理由すらわか

ロのスポーツ選手になりたいとえ、鷹の爪？政治家になりたいか　か

ああ、なぜ？なぜ？と問いかけて、日本せんでたたその、りか？

現在私の将来の夢というのはハッキリしていませんが、確実に「ロッカーになりたい」とは思っていません。

わっていくも　を　，突拍子がなくてもどんなに平凡でも、自分が本当にしたいと思えることが必ずあると私は信じています。だから私の今の夢は、私の夢を見つけること。それでいいんじゃない？　こんな贅沢な時間を許してくれる両親に感謝の意を込めて。

ヨダ

先日

は唐

とで

え、

て

まだ

なん

べた

て材

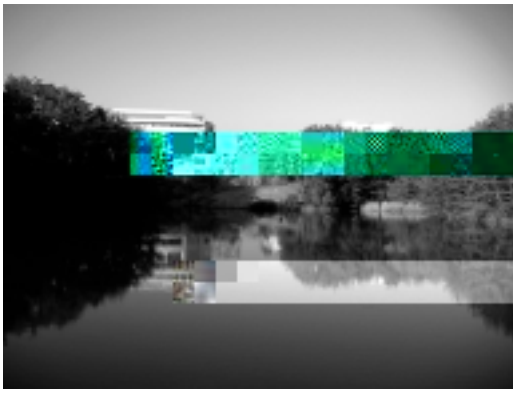
こに

のですから。周りすべてが敵に見えます。そして、敵に見えるからこそ、案外周りが見えていないので　　の　　めて、弱みを隠して歩くからこそ、死角が、隙が増えるのです。

結局その時は闇に葬られたのですが、このエッセイを書くにあたって、再び弱みがつつかれることとなったのです。そして□□□

川村　真弓

お腹が減ったら食べるように、
サイズをしたら良い。
すきな服を着て、すきな人と、すきなことをする
とにかく笑えれば、と私の大好きな歌手も歌っている。
笑うための努力は必要だ。



きつね

小野　未千恵

何の動物が好きか、ペットに何を飼いたいかという質問□□□

飛翔な日々

異国にて

五十嵐　太郎

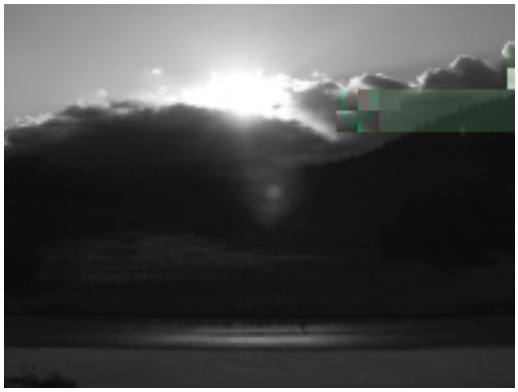
あとは小野さんの指示に従ってください。

二〇〇七年八月上旬、飛翔七十二号の製作が最終段階に入ったこを残して、北京へ飛んだ。文学部の先生の、短期留学プログラムに参加したのである。ちなみにこの時、わたしの右腕たる荒川くんもすでにドイツだった。それで特あそれは良いとして、中国滞在中に考えたことを少し紹介してみたい。

学　　、　　、

語は、うまく通じることもあれ□□□

た。充実感や楽しみや成長がたくさんあって、本当に良かった。

ただ、なんでもすらすらできたわけじゃな　た　一　一決めるのも困った。行うこともすごく難しかった。思うように行かないことがたくさんあったし、これらに挑んで失ったものもあ　た　というのも本音。強固な自信がついた　ま　、にしてもいまだに不安だし、怖いし、迷う。なんか泣きたくなるし、いらだつし、焦る。自分に前向きに過ごせていると思ったのに、すぐに自分の小ささばっかりで、ともある（もっとポジティブに書くつもりだったんだけどな）。

ながながと愚痴りながらも、今もなにかしら挑戦している。うまくいく日もあれば、うまくいかなくて落ち込む日もある。楽しい日があれば、つらい日もある。そんな毎日を相変わらず過ごしている。悔しく思っては、ただただ粘って過ごす。卑怯に逃げることもたくさんあるけど、逃げてはやり直し、逃げてはやり直す、そんな生活である。粘り強さだけが磨かれていくように感じる。ただただ、粘り続ける。意義も意味もわからな　、挑戦しているからか、とにかく粘る日が今日も続く。とにかくあきらめずにやりたいものである。うっそうとした雲を振り払い、すがすがしい空を見たい今日この頃である。